

農林水産物・食品の輸出 －ジェトロの支援－

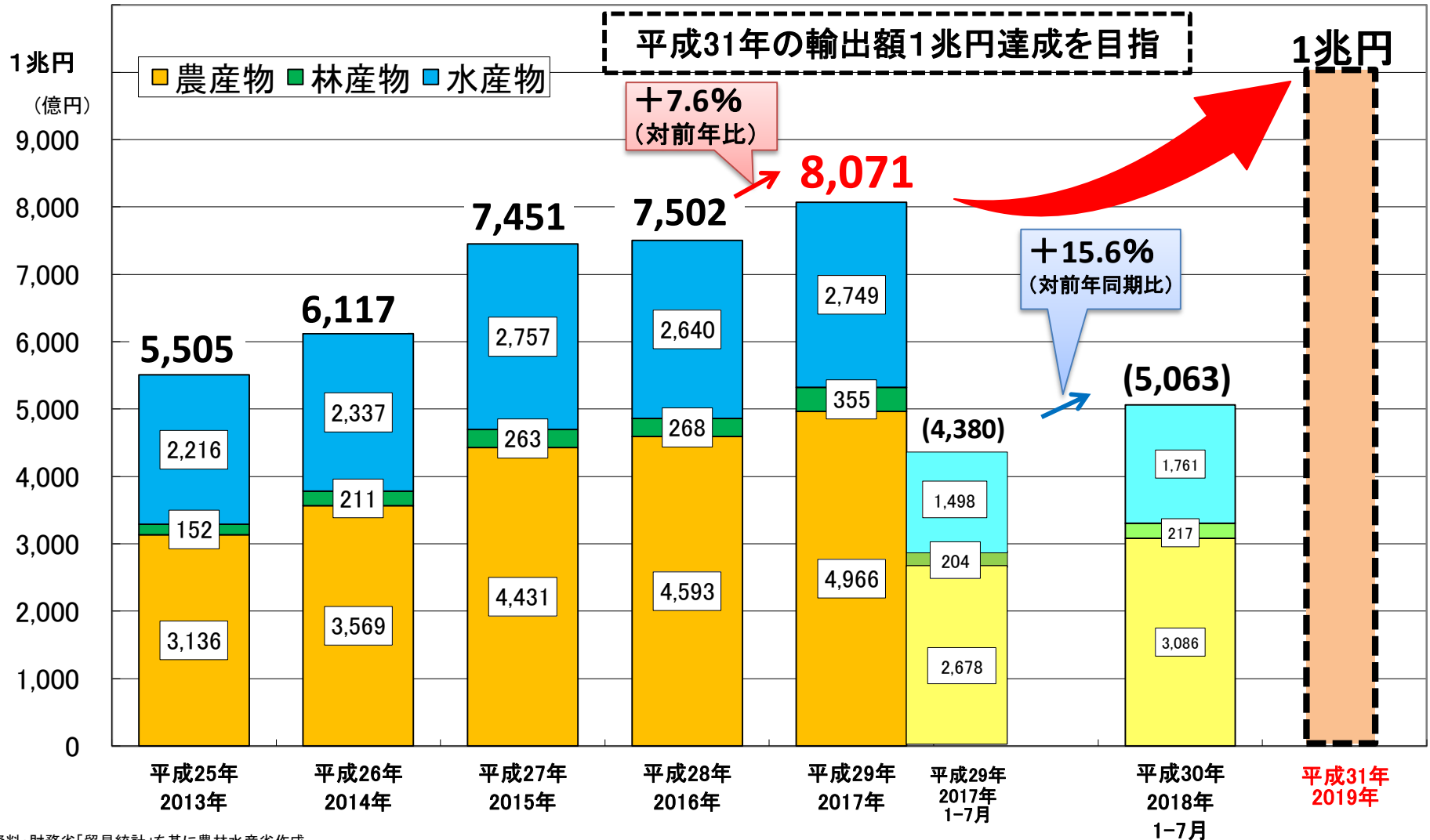
JETRO

2018年10月24日

日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産・食品部

農林水産物・食品の輸出額の推移と目標

- 我が国の農林水産物・食品の輸出は、2013年から5年連続で増加し、2017年輸出実績は8,071億円。
- 2018年1-7月の輸出実績は、5,063億円で対前年同期比15.6%の増加。
- 2019年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標に向けて取組を進めている。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

農林水産物・食品 輸出の効果

直接的な販売増のほか

物差しの違う市場でのビジネスチャンス



(例) 香港、台湾で食べ歩き用に小型サツマイモが高評価

一次産業に不可避の豊凶変動に対応

海外販路を持つことで、国内市場の需給安定化に役立つ

(例) 台湾のスーパーでの青森りんごの予約受付を行っている。



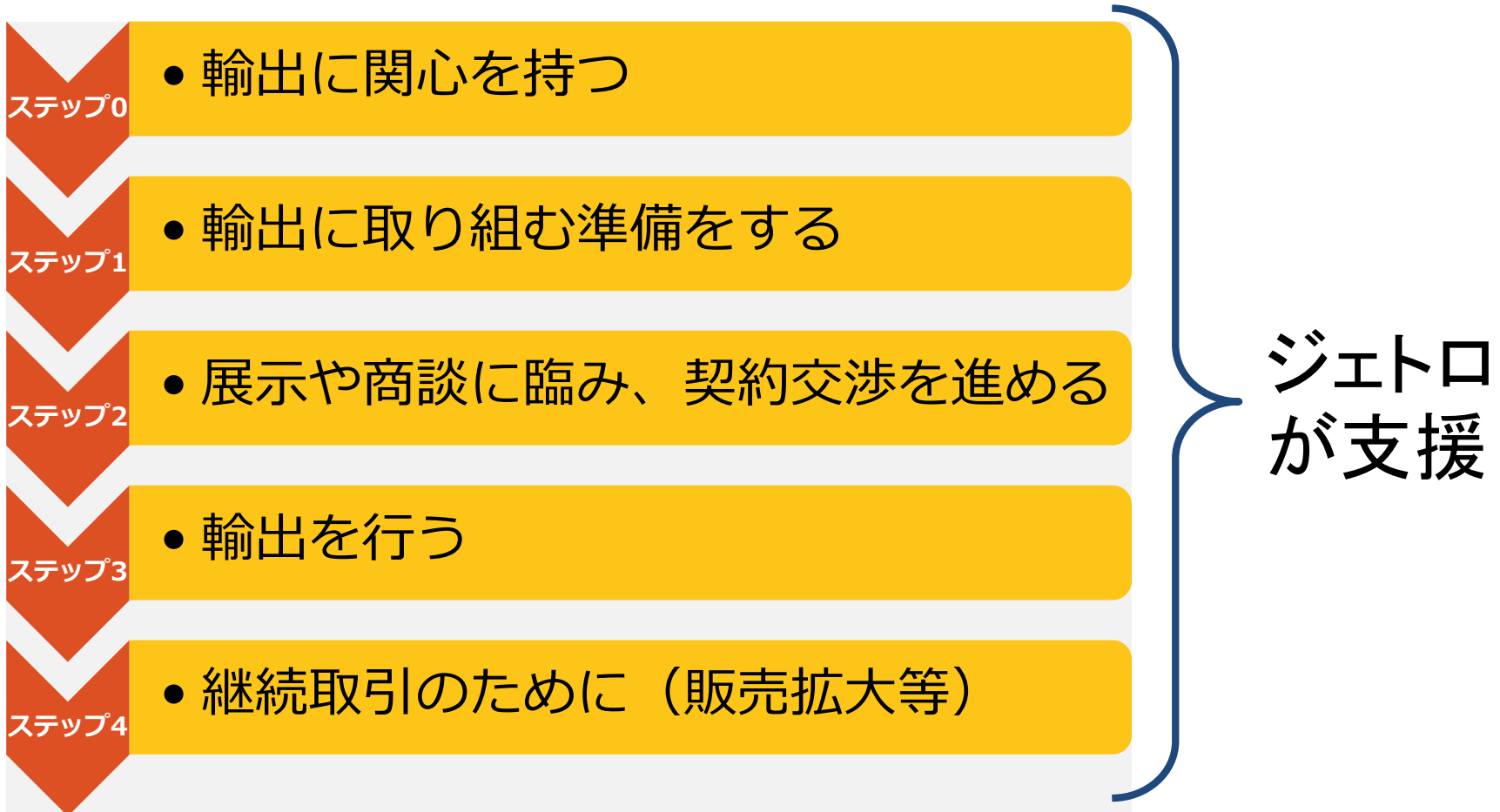
海外進出をきっかけに知名度、商品力を向上

- ・ 海外での販売実績をPRすることで、国内市場でのブランド力強化が期待できる。
- ・ 日本とは異なる海外の視点で商品を見直し、改良に結びつけることができる。

信用力、生産現場の意欲アップ

- ・ 輸出実績をPRし、地域・生産者のイメージ・信用力の向上を図ることが可能。
- ・ 輸出という先進的な取り組みにチャレンジすることで生産現場の意欲向上に結びつく。
- ・ 海外バイヤー等を相手に商談の経験を重ねることで、販売力の向上が期待できる。

農林水産物・食品輸出 成功までのステップ



具体的な相談例と対応

ステップ0

- 海外の味覚の違いや嗜好などを知りたい。
- 当社商品を海外で売るとしたらどの国がよいか？
- 当社のどの商品を売ればよいか？
- 海外取引と国内取引で異なる点を教えてほしい。

ステップ1

- 香港の日本食販売・流通事情を知りたい。
- 競合商品はあるのか？
- ○○の食品輸入規制を知りたい。ハラール認証制度について知りたい。
- 貿易実務について教えてほしい。

ステップ2

- 輸出先・取引先・事業パートナーを見つけたい。
- 商談に当たって準備すべきことは？
- どの見本市に出展すればよいかわからない。商流構築ための支援策を教えてください。
- 契約書のサンプルが欲しい。

ステップ3

- 最適な輸送ルート手段を知りたい。
- 輸入者から証明書の添付を求められているが、どのように準備すればよいか。
- 税関で止められ、納期に間に合わない。
- 代金回収で懸念があり、どうすればよいか？

ステップ4

- 輸出先を増やしたい。
- 輸出品目を増やしたい。
- 契約を変更する際の留意点を教えてほしい。

農林水産・食品輸出に関するジェトロのサポート

- 海外市場での需要・商流づくりのために -

(1) 情報・スキル支援

①相談活動

- ・農林水産物・食品輸出相談窓口(国内・海外)
- ・海外コーディネーター相談(22カ所に配置)

②調査

- ・日本食品消費動向調査、品目別輸入制度調査、米国食品安全強化法対応支援等

③ジェトロHP

- ・輸出ポータルサイト、JAFEX(日本産農林水産物・食品輸出マッチングサイト)等

④セミナー

- ・商談スキルセミナー(28件)、品目別セミナー(37件)、海外マーケットセミナー(12件)等

⑤海外連絡協議会

- ・現地日本企業の円滑な事業展開のための有用な情報提供。

⑥各有望品目の研究、ニーズの伝達、品目別団体との連携

(3) 海外向け情報発信

日本産農林水産物・食品の魅力・価値を伝える。

- ・海外見本市での料理デモの実施
- ・招へいバイヤーの生産現場視察、文化的背景学習機会のアレンジ
- ・海外プロ向けセミナー
- ・包装米飯(パックスライス)の中国向け市場拡大
- ・日本産食材サポーター店認定制度

(2) 商流構築支援(商談機会の提供)

①海外見本市

- ・海外の有力食品見本市にジャパンパビリオンを設け出展(23件予定)

②国内商談会

- ・世界各国の優良バイヤーを招へいし、各地で商談会を実施(15件予定)

③海外商談会

- ・ターゲット市場との商流を築くため、海外で商談会を実施(15件予定)

④商社マッチング

- ・輸出(希望)事業者と輸出協力事業者(商社・物流企業等)が商談する機会を提供(11件予定)

(4) 個別企業支援・地域支援

- ・新輸出大国コンソーシアム(エキスパート22名、コンシェルジュ5名 386社受付中(2018年10月12日時点/※参考: 2017年度支援社数 682社))
- ・輸出有望な商品を持ち、輸出への熱意のある企業を専門家15名が一貫サポート
- ・地域先駆けモデルを構築するため、国内事務所が輸出の取組を総合的に支援する一県一支援

● 農林水産物・食品輸出相談窓口相談件数

(本部、大阪本部、国内外事務所の合計)

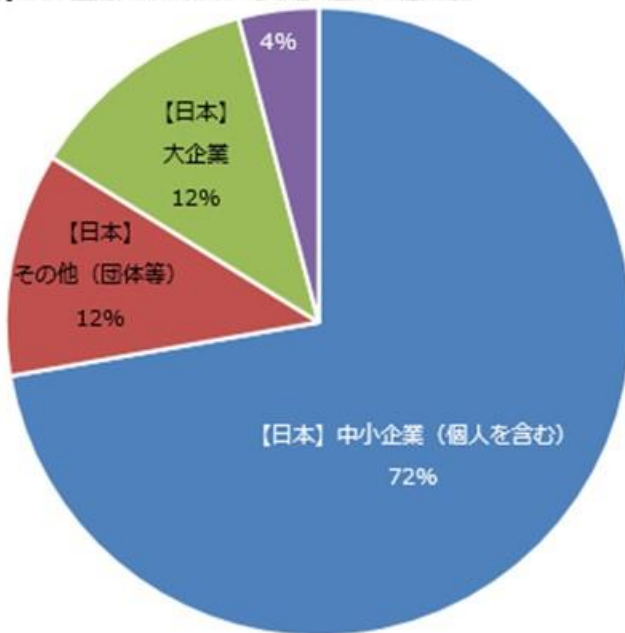
12,800件

(2017年4月1日～2018年3月31日までの実績)

● 相談者の企業形態

相談者の約7割は中小企業（個人含）

【海外】日系企業、日系以外、その他（団体・個人等）



● 相談の傾向

- ・ 規制・手続（食品添加物、ラベル表示、各種証明書、検疫等）に関する相談が大半を占める。
- ・ 品目は多岐に亘るが、特に**加工食品**が多い。この他、米、水産物、野菜・果実、牛肉など**一次産品**関連もある。
- ・ 地域別では、**米国、中国、台湾、香港**が中心であるが、富裕層の増加で市場が拡大している**タイ、ベトナム、シンガポール**についての関心も高い。

貿易情報センターにてご相談を承ります

海外プロモーターによる相談対応・情報提供

- 現地の食品市場に精通した専門家を各国・地域に配置。
- 現地在住の専門家ならではの視点から、相談対応、現地バイヤー発掘、マッチング支援、商談サポート等を実施。また、その知見を広く提供するための国内セミナーも開催。

【配置先】22カ所 40名

(北米) ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ

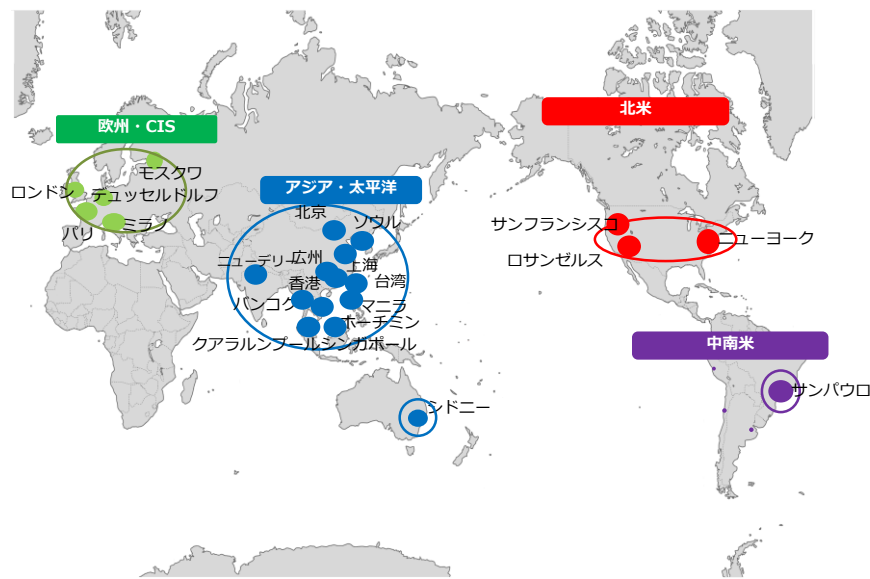
(欧州) ロンドン、パリ、ミラノ、モスクワ、デュッセルドルフ

(北東アジア) 北京、上海、広州、香港、台湾、ソウル

(東南アジア) シンガポール、バンコク、マニラ、クアラルンプール、ホーチミン、ニューデリー

(大洋州) シドニー

(中南米) サンパウロ



【主な照会事項】

1. 商品の市場性

- 日本から輸出した場合の販売可能性、現地ニーズの有無
- 現地市場の規模・特徴、最新トレンド、売れ筋商品
- 競合商品（類似品）の有無とその情報

2. 競合商品情報

- 競合商品（類似品）の有無とその情報

3. マーケティング情報

- 商品の流通形態・販売ルート
- 商品の出展に適した展示会の情報

4. 商品の売り込み先

- 売り込み先として適切な業態

5. その他

- 商品の輸出に際し、障壁となる事項
- 現地で受け入れられる/売れるための改良・改善点

海外プロモーターの支援を受けたいとお考えの場合は貿易情報センターまでご相談ください。

海外の食品安全規制等に関する調査と事業者支援

◆米国食品安全強化法（FSMA）対応支援事業

2011年1月に成立した食品安全強化法（Food Safety Modernization Act、FSMA）については、2015年から主要規則が公表、2016年から順次適用されている。FSMAは、米国内で流通する食品医薬品局（FDA）所管のほぼすべての食品に適用されるため、日本からの輸出食品も対象となる。

①FSMA対応支援コンサルティングサービス

事業者からの相談に対し、JETROの担当者が対応 E-mail: fsma@jetro.go.jp

② FSMA特設サイト設置

https://www.jetro.go.jp/world/n_america/us/foods/fsma.html

・過去に開催したセミナー映像資料 ・主要規則の和訳 等掲載



◆改正中国食品安全法

中国は、2015年4月24日に「改正食品安全法」を制定、2015年10月1日から施行。

<ポイント>

1. 許可取得部門の変更
2. 食品の生産・取扱者が確立すべきシステム・制度の強化
3. 食品リコール制度の改正
4. 遺伝子組み換え食品に関する明示の追加
5. 特殊食品に関する厳格な管理の追加
6. 違反行為者に対する罰則の加重 など

◆韓国輸入食品安全管理特別法

韓国は、2015年2月3日に「輸入食品安全管理特別法」を制定、2016年2月4日から施行。

<ポイント>

1. 海外製造所の登録義務化
2. 海外製造所の現地実態調査
3. 海外優秀製造所の登録
4. 営業者および製品の区別管理 など

農林水産物・食品の輸出に係る規制、現地情報、イベント情報が把握可能

● 輸出ポータルサイト <https://www.jetro.go.jp/agriporta>

農林水産物・食品の輸出支援ポータル

農林水産物・食品の輸出を支援します!

世界の食トレンド
各国の日本産食材の活用現場を紹介します

何をどこに輸出したいですか?
品目・国別に手続きや規制を確認できます

国別マーケット
現地市場価格調査

品目別・国別に検索

輸出したい商品の輸出先の規制・手続きや
輸出したい国の商流の特徴、味覚傾向、その他
マーケット情報

最新情報の確認

輸入規制の変更、食
品輸出に関する国内
外のジェトロイベン
トの参加募集状況等

お知らせ		世界のビジネスニュース・トレンド
2017年10月4日	ジェトロ	PROWEIN (プロワイン) 2018 (ドイツ・デュッセルドルフ) 日本産酒類パビリオン出品者募集を開始しました
2017年10月3日	ジェトロ	日本産食材ピックアップ「米粉」を公開しました
2017年10月3日	農林水産省	米国による日本産食品の輸入規制の変更について
2017年10月2日	ジェトロ	「Winter Fancy Food Show 2018」(米国・サンフランシスコ) 日本産食材の出展者募集について

ピックアップ

日本産農林水産物・食品輸出
マッチングサイト (JAFEX)

海外における日本産食材サポ
ーター店認定制度

ジェトロのホームページ②

JAFEX : Japan Agricultural and Foodstuff Export

<https://www.jetro.go.jp/ttppoas/special/agri/agribj.html>

JAFEXは、農林水産物・食品の輸出促進に特化したマッチングサイト。ジェトロが運用する国際ビジネスマッチングサイト（TTPP）内に開設。



売りたい情報を掲載し、海外バイヤーからのコンタクトを待つことが可能（要利用登録）



簡易情報の閲覧は、登録不要。
詳細情報を見る場合やバイヤーへのコンタクトをする場合、又は自社の売りたい案件を登録する場合は登録が必要。

登録・利用は無料です！

海外のバイヤーの買いたい情報が品目別、バイヤーの国別に日本語で閲覧可。利用登録をすれば、バイヤーへコンタクト可能。



海外バイヤー向けの英語ページ

各種セミナーによる情報提供・スキルアップ支援①

商談スキルセミナー

輸出を目指す事業者が、海外バイヤー等に対して効果的に売込・商談ができるよう、貿易実務や商談スキル全般について説明。

商談スキルセミナー

【2017年度開催地・回数】

- ・ 地方28都市、計29回

【参加者の声】

- ・ 各国・地域の規制や関税など、情報収集の仕方が学べて良かった。
- ・ 商談会で用意すべき資料と注意点が明確になった。



品目別セミナー

畜産物、水産物、青果物、コメ・コメ加工品、木材、花き、加工食品、酒類等の「品目」に焦点をあてたセミナーを各地で開催。

海外マーケットセミナー

現地の食品市場に精通した専門家（現地在住者）より、最新のマーケット情報、トレンド、商習慣などに関して説明。

海外マーケットセミナー

【2017年度開催地・回数】

- ・ 東京および地方11都市、計8回

【参加者の声】

- ・ 現地の小売、外食、現地人の食習慣を詳しく紹介して頂いた。
- ・ 実際に現地でビジネスをされている方の視点が非常に良かった。



貿易情報センターにて、全国で開催するセミナーをご紹介します。

各種セミナーによる情報提供・スキルアップ支援②

< 2018年度予定 >

商談スキルセミナー

日程	場所
5月 三重	
6月 兵庫・富山・北海道・岡山	
7月 北海道・佐賀・秋田・福井・鳥取・愛知・島根	
8月 京都・岡山	
12月 青森・大阪・埼玉	
1月 宮城・京都・宮崎・熊本	
2月 群馬・愛知・香川・高知・愛媛	
調整中 静岡・長崎	

品目別セミナー

日程	内容	場所
6月	加工食品	愛媛
	酒類	沖縄
7月	水産物	島根・静岡・岩手
	畜産物	宮城
	加工食品	栃木
9月	木材	愛媛
	加工食品	長崎
	酒類	島根・静岡・栃木・鹿児島

海外マーケットセミナー

日程	内容	場所
6月	香港・上海・台湾	東京・福井・滋賀
8月	パリ・デュッセルドルフ	東京・愛知・兵庫
9月	クアラルンプール・ホーチミン・バンコク	東京・北海道・京都
11月	ニューヨーク・ロサンゼルス	東京・大阪・鹿児島

日程	内容	場所
10月	水産物	鹿児島・兵庫
	加工食品	佐賀
	花き	愛知
11月	水産物	北海道
	加工食品	埼玉・島根
	酒類	愛媛・大分
12月	コメ・コメ加工品	青森
	加工食品	三重・鹿児島
	木材	東京
1月	加工食品	奈良・熊本
	酒類	宮城・鳥取
2月	加工食品	富山・山梨
	酒類	京都・宮崎
時期調整中	畜産物	京都
	木材	鹿児島
	青果物	山梨

※募集案内はJETROのHPに掲載します。<https://www.jetro.go.jp/events/>

海外見本市による商談機会の提供

< 2018年度 23 本予定 >

<海外見本市>

- ✓ 多様な国・地域から集まる有力な海外バイヤーとの商談
- ✓ 個別のアプローチが困難な海外バイヤーへの広報

<ジャパンパビリオンへの出品メリット>

- ✓ 「ジャパンパビリオン」としての好位置の確保や、主催者への煩雑な手続きの代行
- ✓ 一部費用補助に伴う出展コストの低減
- ✓ 現地事情に精通した海外コーディネーターなどによる輸出全般についてのアドバイス
- ✓ 会期前から継続したバイヤー誘致活動や呼び込み支援



※ジャパンパビリオンイメージ

見本市名(2018年度)	会期
Seafood Expo Global 2018 (ベルギー・ブリュッセル)	4/24-26
FHA 2018 (シンガポール)	4/24-27
SIAL China 2018 (中国・上海)	5/16-18
NRA Show 2018 (米国・シカゴ)	5/19-22
THAIFEX 2018 (タイ・バンコク)	5/29-6/2
FOOD TAIPEI 2018 (台湾・台北)	6/27-30
Summer Fancy Food Show 2018 (米国・ニューヨーク)	6/30-7/2
Imbibe Live 2018 (英国、ロンドン)	7/2-3
Food Expo 2018 (香港)	8/16-18
World Food Moscow 2018 (ロシア・モスクワ)	9/17-20
SIAL 2018 (フランス・パリ)	10/21-25
CIIF2018 (中国・上海)	11/5-10
China Fisheries & Seafood Expo 2018 (中国・青島)	11/7-9
Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2018 (香港)	11/8-10
FHC China 2018 (中国・上海)	11/13-15
Winter Fancy Food Show 2019 (米国・サンフランシスコ)	1/13-15
Sirha 2019 (フランス・リヨン)	1/26-30
BIOFACH 2019 (ドイツ・ニュルンベルク)	2/13-16
Gulfood 2019 (UAE・ドバイ)	2/17-21
Hong Kong International Diamond, Gem & Pearl Show 2019 (香港)	2/26-3/2
KOREA BUILD 2019 (韓国・高陽)	2/20-24
Expo ANTAD & Alimentaria Mexico 2019 (メキシコ・グアダハラ)	3/5-7
Seafood Expo North America 2019 (米国・ボストン)	3/17-19

※出品者の募集案内はJETROのHPに掲載します。<https://www.jetro.go.jp/events/>

展示会等を活用した輸出をお考えの場合は、
貿易情報センターまでご相談ください。

海外商談会による商談機会の提供

< 2018年度 15 回予定 >

< 海外商談会 >

- ✓ 新規市場開拓や新たな販路開拓を通じて持続可能な商流構築を目指す事業者に対し、日本産農水産物・食品の取引に関心を持つ現地バイヤーとの商談機会の場を提供
- ✓ ジェトロの海外事務所のネットワークを駆使した現地優良バイヤーの誘致
- ✓ 現地食品専門家による募集時及び採択後の情報提供の充実化（マーケットセミナー、個別相談、事前バイヤー訪問など）
- ✓ 現地市場ニーズに即した「有望商品」を設定し、マッチング精度を向上



商談会名（2018年度）	対象品目	時期
日本酒輸出商談会（オーストラリア・シドニー）	酒類	6月21日
日本酒輸出商談会（スペイン・マドリッド）	酒類	7月5-6日
ベトナム日本産農水産物・食品輸出商談会2018（ベトナム・ホーチミン）	食品全般	7月30-31日
ベトナム日本産農水産物・食品輸出商談会2018（ベトナム・ハノイ）	食品全般	8月1-2日
シドニー日本産農水産物・食品輸出商談会2018（オーストラリア・シドニー）	食品全般	8月20-21日
クアラルンプール日本産農水産物・食品輸出商談会2018（マレーシア・クアラルンプール）	食品全般	9月5-6日
焼酎試飲・商談会2018（米国・西海岸）	酒類	9月7-8日
日本酒輸出商談会（中東欧・ブタペスト/ブラハ/ワルシャワ）	酒類	9月24-29日
ストックホルム日本産農水産物・食品輸出商談会2018（スウェーデン・ストックホルム）	食品全般	10月1-2日
ヘルシンキ日本産農水産物・食品輸出商談会2018（フィンランド・ヘルシンキ）	食品全般	10月4-5日
バンコク日本産農水産物・食品輸出商談会2018（タイ・バンコク）	食品全般	10月16-18日
台北日本産農水産物・食品輸出商談会2018（台湾・台北）	食品全般	10月30日
香港日本産農水産物・食品輸出商談会2019（香港）	食品全般	1月15-17日
シンガポール水産物輸出商談会2019（シンガポール）	水産品	2月21日
シカゴ水産物輸出商談会2019	水産品	3月

※募集案内はジェトロのHPに掲載します。<https://www.jetro.go.jp/events/>

国内商談会による商談機会の提供①

海外バイヤーとの商談会

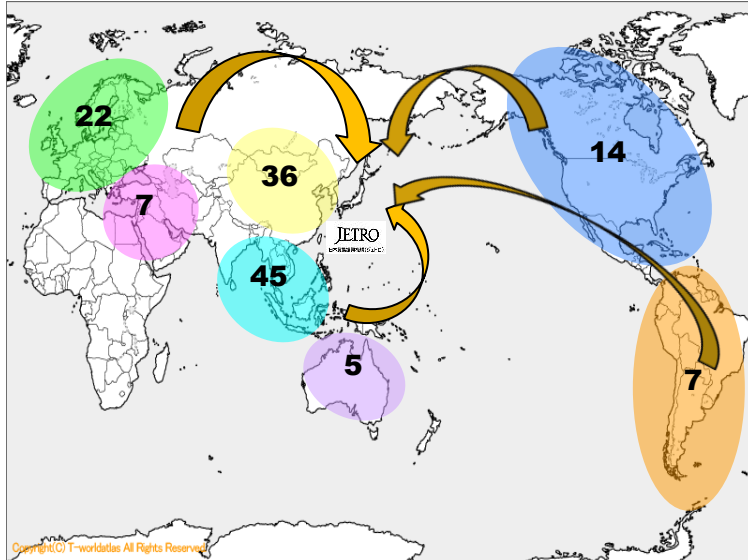
< 2018年度 15 回予定 >

<国内商談会>

- ✓ 海外から招へいする有力バイヤー等との個別商談会
- ✓ 国内各地で開催。日本にしながら、海外販路拡大を実現する機会
- ✓ 日本産農林水産物・食品のPR等のため、招へいバイヤーを対象にした卸売市場・産地視察を実施。

※2017年度は23回開催し、バイヤー136名が参加。

第1回“日本の食品”輸出EXPOには233名のバイヤーを招へい



※募集案内はJETROのHPに掲載します。<https://www.jetro.go.jp/events/>

商談会名	対象品目	時期
日本茶輸出商談会（滋賀）	日本茶	5月30日
水産物輸出相談会（宮城）	水産物	6月12-13日
アグリフードEXPO /シーフードショー商談会 （東京）	食品全般	8月22-24日
食品輸出商談会（北海道）	食品全般	8月28-29日
食品輸出商談会（島根）	食品全般	8月28日
食品輸出商談会（東京）	食品全般	10月9日
輸出EXPO 2018（千葉）	食品全般	10月10-12日
食品輸出商談会（熊本）	食品全般	11月27日
食品輸出商談会（沖縄）	食品全般	11月29-30日
食品輸出商談会（大阪）	食品全般	2月19-20日
食品輸出商談会（宮城）	食品全般	2月22日
食品輸出商談会（石川）	食品全般	2月22日
FOODEX JAPAN（千葉）	食品全般	3月7-8日
食品輸出商談会（愛知）	食品全般	3月12日
食品輸出商談会（四国）	食品全般	3月12日

商談前の事前準備や商談後のバイヤーへのフォローについて貿易情報センターにてご相談をお受けします。

国内商談会による商談機会の提供②

国内商社等との商談会

< 2018年度 11 回予定 >

<商社マッチング>

- ✓ 食品輸出事業者の輸出体制をサポートするために開設された「ジェトロ農林水産・食品輸出協力企業リスト」では、食品を取り扱う商社、物流（通関）事業者や海上保険会社等の輸出業務に係わる業種を掲載し、常時情報提供を実施。（約158社掲載）
- ✓ リストを活用し、具体的な商談を創出すべく、リスト掲載企業と食品輸出事業者のFace to Faceのネットワーキング・商談会を開催。
- ✓ 2017年度は、参加商社146社及び参加事業者404社（いずれも延べ数）に交流の機会等を提供。

JETRO 海外ビジネス情報 サービス 国・地域別に見る 業種別に見る

農林水産物・食品 ジェトロ農林水産物・食品輸出協力企業リスト

ジェトロ農林水産物・食品 輸出協力企業リスト

このページを印刷する

ジェトロが一定基準を設け公募によって募集した、農林水産物・食品の輸出を行う商社・貿易会社・船社（船務代理店）・航空会社（航空代理店）・通関会社・物流会社・海運会社・フォワーダー・輸出梱包サービス会社・保険会社のリストです。

輸出に意欲があるにも関わらず貿易業務に不慣れな農林水産物・食品事業者等に対して、貿易業務を多方面からサポートする企業の情報を提供することで、農林水産物・食品輸出の円滑化と拡大を図ります。

なお、本リストは、あくまで情報を整理し、事業者に情報提供する場合にジェトロが設けるものです。当該目的外の利用は固くお断りします。本リストをきっかけとする取組、取引は各企業の判断と責任の下に行ってください。企業に損害が生じた場合、ジェトロは責任を一切負わないものとします。

▼ リストへの掲載を希望される場合

条件で絞り込む

業種 ☐ 商社 ☐ 物流関連企業 ☐ その他

取り扱う品目 ☐ 肉/肉を用いた加工品 ☐ 畜産品/肉類/肉類加工品 ☐ 魚介類/魚介類加工品 ☐ 穀物/穀物加工品 ☐ 米/米加工品 ☐ 野菜・果実/加工品 ☐ 糖類/糖類加工品/はちみつ ☐ コーヒー/ココア/香料類 ☐ 茶葉 ☐ 調味料 ☐ 清酒 ☐ 焼酎 ☐ その他のアルコール飲料 ☐ 非アルコール飲料 ☐ 糖・糖類 ☐ その他加工品 ☐ 花き ☐ 木材

輸出先国・地域 条件を設定する ▼

輸送方法 ☐ 船運 ☐ 冷蔵 ☐ 冷凍 条件を設定する ▼

所在地

開催地（2018年度）	対象品目	時期
栃木	食品全般	6月28日
山梨	食品全般	7月24日
大阪	食品全般 水産品	7月31日
東京	食品全般	8月23-24日
東京	水産品	9月11日
仙台	食品全般	11月8日
福島	食品全般	11月13日
千葉	食品全般	12月5日
東京	水産品	1月17日
岐阜	食品全般	2月8日
千葉	食品全般	3月7-8日

※募集案内はジェトロのHPIに掲載します。<https://www.jetro.go.jp/events/>

(1) 海外見本市:

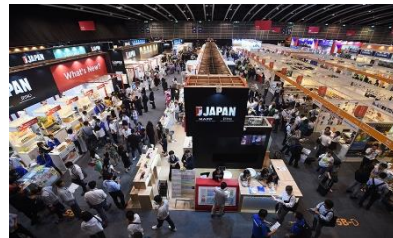
THAIFEX 2018 (タイ・バンコク)

- ・開催期間: 2018年5月29日(火)～6月2日(土)
- ・規模: 78社・団体
- ・主な成果: タイの食品加工メーカーの集積、第三国輸出拠点としての位置づけ(ハブ機能)に目を付け、缶詰等の原材料供給型輸出を目指す企業が出品し、高い成果を挙げた。



Food Expo 2018ジャパンパビリオン
(品目別ゾーニングを実施)→

← THAIFEX会場内にバイヤーラウンジを設置 (来場者の回遊性を高める工夫)



Food Expo 2018 (香港)

- ・開催期間: 2018年8月16日(木)～18日(土)
- ・規模: 131社・団体
- ・主な成果: マグロ、ホタテ等の水産物・同加工品や菓子類を中心に成約。海外コーディネーターによる国内巡業セミナーと個別相談、商談資料(英語／中国語)の準備支援等、成約向上のための事前の取組みを実施

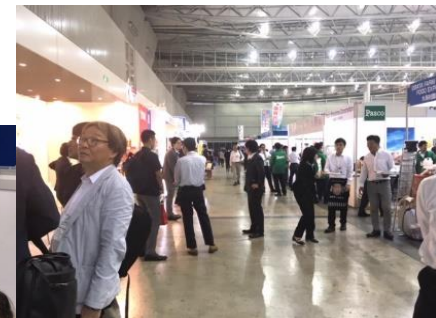
(2) 国内商談会 (海外バイヤー招聘)

第2回 “日本の食品”輸出EXPO

- ・開催期間: 2018年10月10日(水)～12日(金)
- ・場所: 千葉・幕張メッセ 9～11ホール
- ・規模: 海外バイヤー306名(ジェトロが招聘)
日本側出展者638社・団体
- ・主な成果: 過去最大規模の海外バイヤーを輸出に特化した展示会に招聘したことで高い成果を挙げた。また、イベント会期の前日(10月9日(火))には「食品輸出商談会in東京」を開催し、海外バイヤー(23名)と参加事業者(84社)が事前マッチング型商談会も併せて実施し、さらなる商談機会の創出を図った。



商談風景



輸出EXPO会場風景
(千葉・幕張メッセ内)

精米の輸出・流通ルートが限定されている中国への日本産コメの販売拡大を図るため、包装米飯の販路開拓を上海等5都市の小売店やレストラン等で実施

➤ 小売店におけるテスト販売（～2017年度）

- ・ 中国5都市(上海、蘇州、北京、天津、成都)の百貨店、スーパー及びコンビニ194店舗で、5道府県産米の包装米飯をPR販売
(2017年5月～12月)
- ・ 上海伊勢丹に日本産包装米飯PRステーションを設置（～2018年1月）
→これらにより、上海高島屋、上海伊勢丹など21のスーパー・百貨店が日本産包装米飯の取扱い継続を希望



スーパー内の包装米飯特設売場

➤ レストランにおけるメニューフェア（～2017年度）

- ・ 上海のレストランで、日本産包装米飯を使用したメニューフェアを2回開催し、計32店舗が参加。参加店が包装米飯を使った仕出し弁当を採用、提供中。



百貨店内の包装米飯PRステーション

➤ 2018年度以降の取組

- ・ コメ輸出量を平成31年に10万トンに拡大することを目指す農林水産省の「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト構想」も踏まえ、2018年11月5～10日に上海で開催される「中国国際輸入博覧会」において日本産米と併せ包装米飯をPRする等、関係企業と連携した中国向け市場の拡大に向けた支援を継続。

日本産食材サポーター店認定制度

日本産農林水産物・食品の海外発信を強化するため、国外にある、日本産食材・酒類を使用しているレストラン・酒専門店、日本食材・酒類を取り扱う小売店を「日本産食材サポーター店」として認定する制度

JETROは、農林水産省が定めた「海外における日本産食材サポーター店の認定に関するガイドライン」の運用・管理団体に指定

農林水産省と協力し、認定店の拡大に向けて取り組み中

サポーター店認定数3,324店舗

※2018年9月末時点。認定団体数は22団体、認定協力団体は3団体



認定店に授与する認定書



香港見本市HOFEXでのPRイベント



タイ・バンコクでのPRイベント

個別企業支援（輸出有望案件発掘支援事業・新輸出大国コンソーシアム事業）

- 輸出ビジネスに精通した専門家が、各社の輸出戦略の策定、マーケット・バイヤー情報の収集、海外見本市随行、商談立ち合い、契約締結まで一貫してお手伝い。

＜2018年度 4～9月末時点の支援企業数＞

事業名	専門家数	支援社数 ※2017以前に支援を卒業した企業は含まず
輸出有望案件発掘支援事業	輸出有望案件発掘支援専門家：15名	112社
新輸出大国コンソーシアム事業	エキスパート：22名	386社

【支援事例】

見本市参加をきっかけに、定番化を実現（乾燥椎茸）

- 輸出実現先：米国、シンガポールほか
- 専門家の支援内容：
＜バイヤー選定、アポ取得、商談支援・フォローアップ＞
一 国産乾しいたけ国内トップシェアを持ち、有機の乾しいたけを安定的に供給可能である点が同社の強み。
米国の見本市に立て続けに参加し、試食販売で、消費者やバイヤーの好評を得たことから定番化が実現。
一出展に当たっては、専門家が現地バイヤーの発掘やアポ取得を支援。効率的に商談を進めることができた。



海外事業部を新設し、着実に輸出実務や商談ノウハウをマスター（海苔）

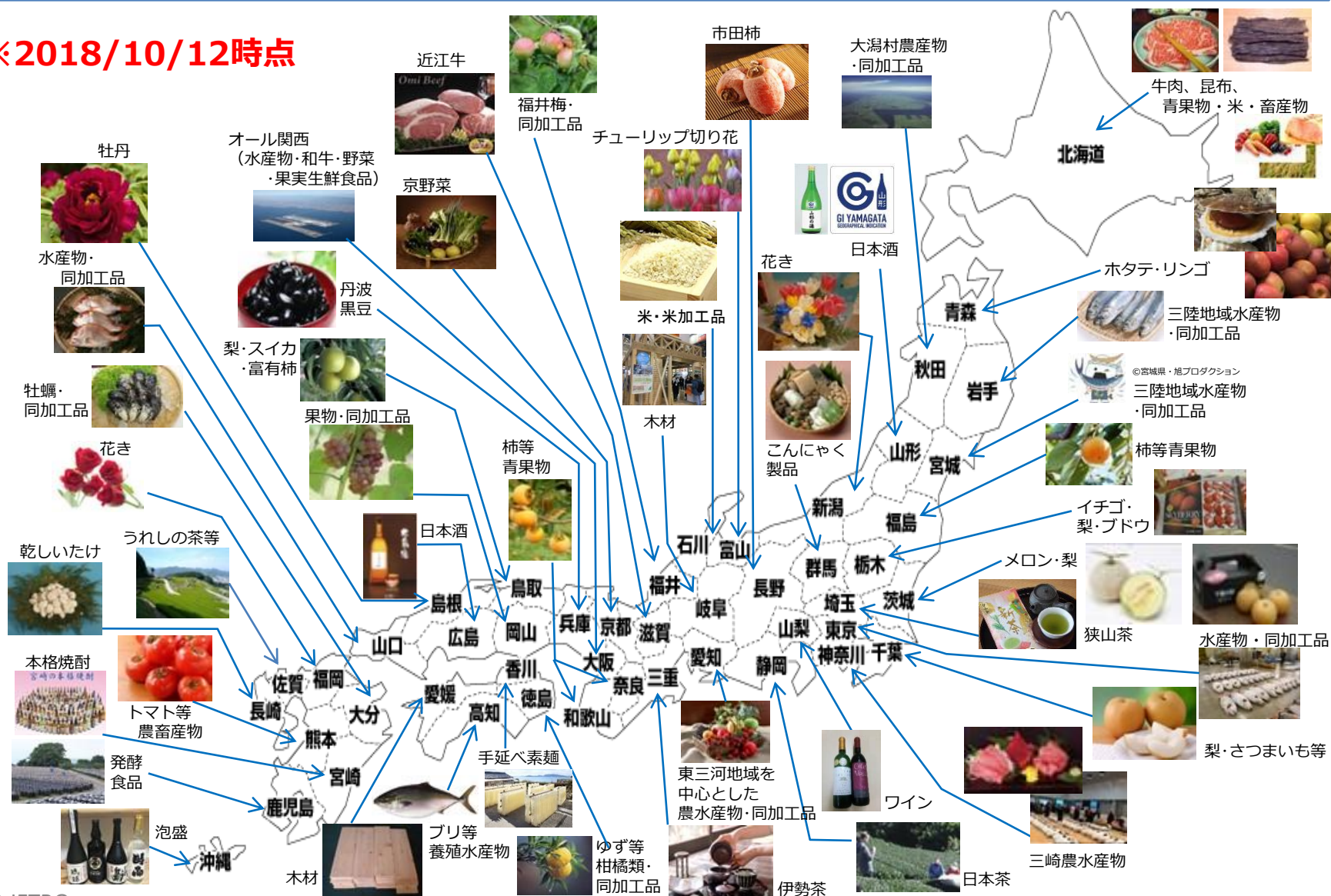
- 輸出実現先：マレーシア、ベトナムほか
- 専門家の支援内容：
＜商談支援、売り込み方の指導、フォローアップ＞
一 海外事業部の新設、各種認証の取得、安定した供給体制の確立など、輸出に当たり社内体制を強化。輸出希望国（東南アジア）で開催される見本市に積極的に参加。
一 専門家のアドバイスの下、貿易実務、効果的なプロモーション方法、商談ノウハウを着実に習得。東南アジア以外からの引き合いにも柔軟に応じることができ、成約先の幅が広がった。



一県一支援プログラム

- 自治体や生産者団体等と連携し、産地間連携も視野に地域産品の輸出案件を組成。ジェトロの各種支援ツールや海外ネットワークを活用して海外展開を図る。

※2018/10/12時点



➤ 米国の輸入解禁に合わせた輸出支援

- ✓ 2017年10月の日本産柿の対米輸出解禁を踏まえ、輸出が可能となった和歌山県と連携した富有柿のPRを米国西海岸において実施。テスト販売（2日間）でほぼ完売（2018年1月）。

現地反応：「大玉で見栄えが良く、甘いのにクリスピーな食感が新鮮」

- ✓ ロサンゼルス総領事公邸で開かれた天皇誕生日レセプションの招待客約400人に対し、日本産柿輸入解禁の周知と和歌山県産富有柿の試食PRを実施（2017年12月）

- ✓ 現地高級レストラン・小売店・食品卸・メディア関係者等を対象に、ロサンゼルス・ビバリーヒルズのJA全農レストラン「SHIKI」で開催したプロ向けセミナーで、和歌山県産富有柿の紹介と試食PRを実施（2018年1月）。

現地反応：「日本産柿を料理にも取り入れたい」等メディアも高い関心。

➤ カナダ向け輸出に対する支援

- ✓ 日本産の柿は過去にわずかな輸出実績があるものの輸出が継続しなかった。
- ✓ 北米向け輸送実験の成果を踏まえ、2016年度に和歌山県産刀根早生柿のプロ向けセミナーをバンクーバーで開催。輸出増につながった。



レセプション出席者へカットした柿を試食PR



プロ向けセミナーにおける日本産柿に関するプレゼン（JA紀北かわかみ）



バンクーバーにおけるプロ向けセミナーと試食PR

◆TPP・EU等需要拡大緊急対策事業「ビジネスマッチング等の実施」

EU向け農林水産物・食品の輸出を行うためには、EU当局の規制への対応に加え、それら製品の輸出を円滑かつ効果的に拡大させるために、現地事業者からの商業的な要求事項にも対応し、non-GMOやグルテンフリー等、付加価値を付けることで販売力を強化していかなくてはならない。そのため、EU域内で事業者から要求される厳しい条件に対応するための**検査証明の取得支援**、**食品ラベルに関する問い合わせ等への対応**を実施。また、支援した事業者も含め、EUのバイヤーとのビジネスマッチングの機会を設ける予定。

【販売力強化のための支援】2018年7月25日～12月28日まで受付中。

EU向け食品の残留農薬検査、栄養成分分析のほか、GMO検査、グルテンフリー検査、包材溶出検査等を実施中。あわせて、ラベルに関する確認事項やEU域内言語への対応も含めた支援を実施。

○食品検査：56商品、77項目（9月13日時点、採択件数）

○ラベル表示：23件（同上）

【ビジネスマッチング】（予定）

EU域内諸国からバイヤーを招聘し、上記にて支援した事業者も含め、フェア・イン・フェア形式での商談会を予定。その他、SIAL、SIRHA等への出展企業にも本事業を案内。

【日程】2019年2月13日～14日（スーパーマーケットトレードショー開催期間中）



◆「農林水産・食品の輸出促進ポータル」用制度調査（農林水産物・食品 品目別輸出ガイド）

品目別／国別・地域の輸入規制（動植物検疫等）、食品規制（残留農薬基準、添加物規制等）、輸入手続き（通関手続き等）、輸入関税等、食品輸出事業者が求める規制情報について、ピンポイントで応えられるよう、ポータルサイトに取りまとめている。2018年度は、15カ国・地域を対象に、各国の輸出戦略に基づき、更新・新規合わせて20品目の情報を整備中（全調査件数：110件）。新規の品目として、**健康食品、食品添加物を追加**予定。

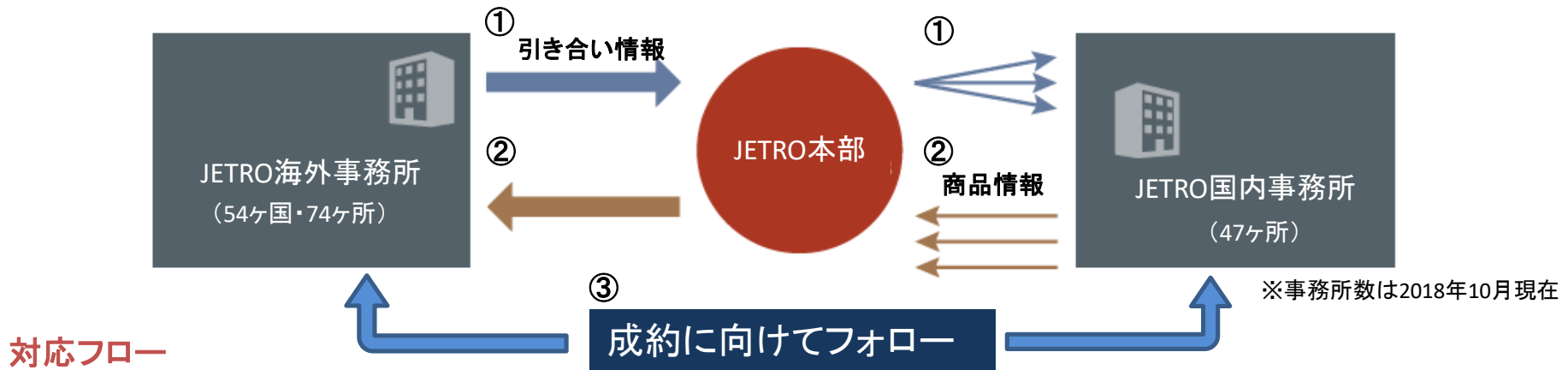
◆「農林水産物・食品輸出に向けたプライベートスタンダード調査」

農林水産・食品の輸出拡大のためには、各国制度への対応に加え、新たな販路の拡大のために未開拓の大手現地卸売り・小売業界への売り込みが重要となる。大手現地卸売り・小売から取引条件として課されるようなFSSC22000やGLOBALG.A.P.等の規格・認証の情報について、調査を実施する。

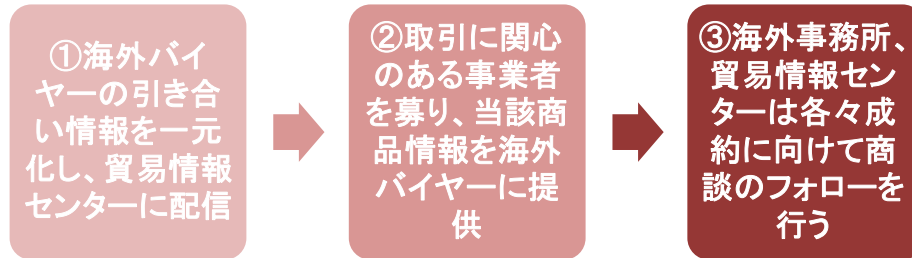
Japan Food Suppliers Matching Program (インクワイアリー・サービス)

JFOODOのプロモーションと共に商流構築・拡大をするため、見本市や商談会の会期といった特定期間に限定せず、常時海外バイヤーの引き合い情報に対応し、機会を逃さず商談の場を提供する体制を整え、輸出拡大目標達成に貢献する。農林水産省、経済産業省と協力しながらマッチングの推進を進める。

Japan Food Suppliers Matching Program



対応フロー



今後の広報の予定

○広報チラシの作成(バイヤー向け情報として「JAFEX」を同時掲載)

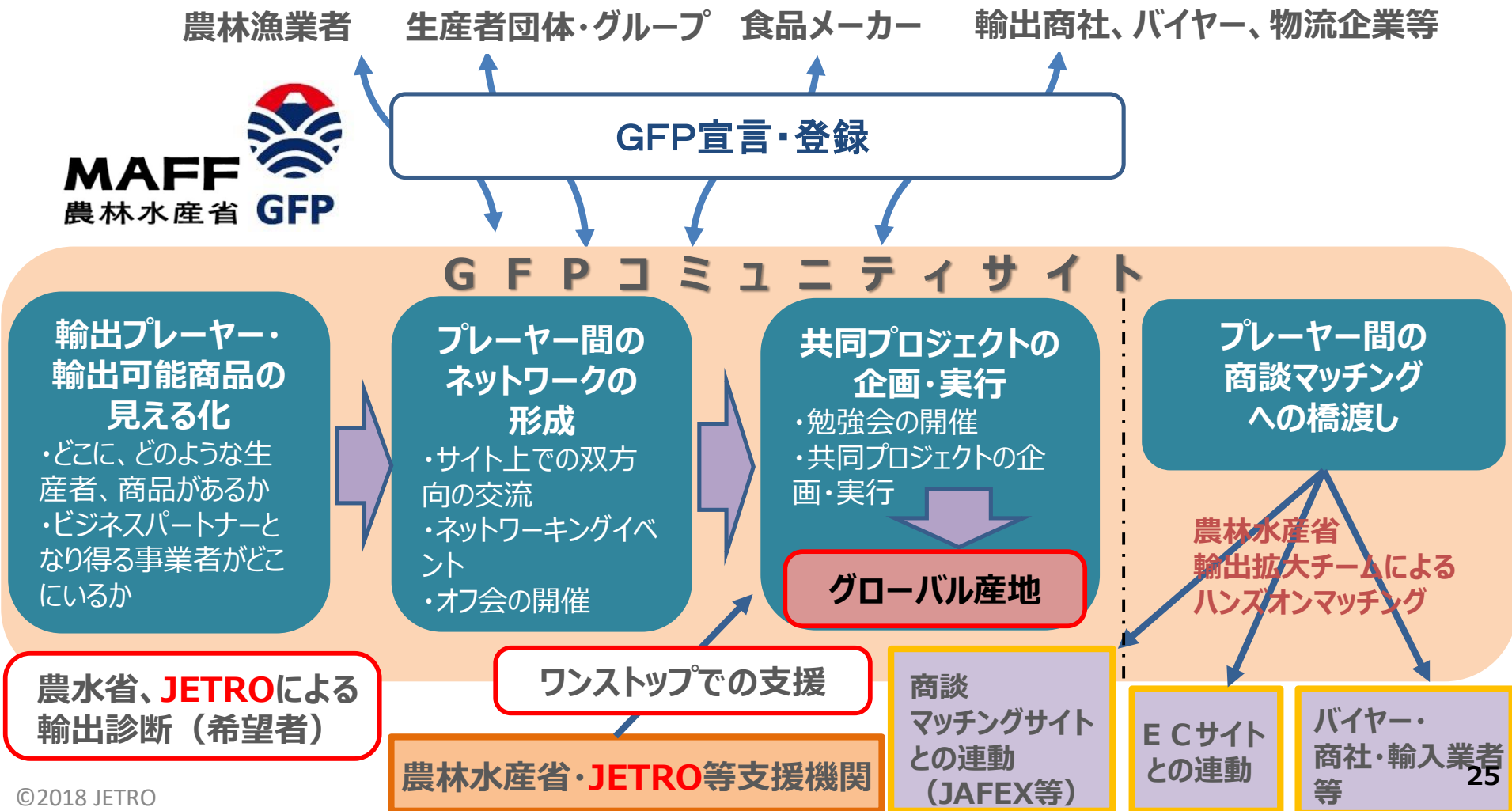
○JETROグローバルサイトへの掲載



大手バイヤー(米国)買い付けミッションに対応

農林水産物・食品輸出促進プロジェクト（GFP）への参画

- 農林漁業者、食品メーカー、流通業者は小規模プレーヤーが多数存在。輸出は、国内出荷と異なり、様々な手続き・規制・言語のハードルや独特の商流が存在し、個々のプレーヤーでは継続的な成果を出すのが困難。
- こうした課題を乗り越えるため、個々のプレーヤーがビジネスパートナーを見つけ、商談への橋渡しを行うサイトを構築。
- 併せて、これらコミュニティでの取組みに対して、行政・JETRO等によるワンストップの支援を提供する。



第1回 中国国際輸入博覧会（CIIE2018）

2017年5月、北京で開催された「一帯一路」国際協力サミットフォーラムにおいて、習近平中国国家主席がその開催を発表したもの。ジェトロは日本における取りまとめ機関としてジャパン・パビリオンの運営、個別出品社の申し込み窓口として対応。

【CIIE2018概要】

主催：中国商務部、上海市人民政府
会期：2018年11月5日（月）～10日（土）
会場：国家会展中心（上海）
対象：全面積210,000㎡ に以下を出品
①ハイエンド・インテリジェント機器
②消費者向け電子製品（CE）
③自動車、④服飾・日用消費品
⑤食品・農産品 ⑥医療機器・医薬保健
⑦サービス貿易



国家会展中心(上海)外観

【ジャパンパビリオン（食品・農産品）概要】

規模：ジャパンパビリオン全体2,909㎡の
うち1,100㎡
出品内定者：82社・団体
（孫出品を含めると109社・団体）

※2018年11月5日時点



ジャパンパビリオン全体イメージ

日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）の設立

2016年11月の「農林水産業・地域活力創造プラン」に基づき2017年4月に設置された、
日本の農林水産物・食品のブランド構築のためのプロモーション実施機関

【名称】 日本食品海外プロモーションセンター
The **J**apan **F**ood Product **O**verseas Promotion Center



【略称】 **JFOODO**（ジェイフドー）

【本部】 赤坂アークヒルズ内 7 階

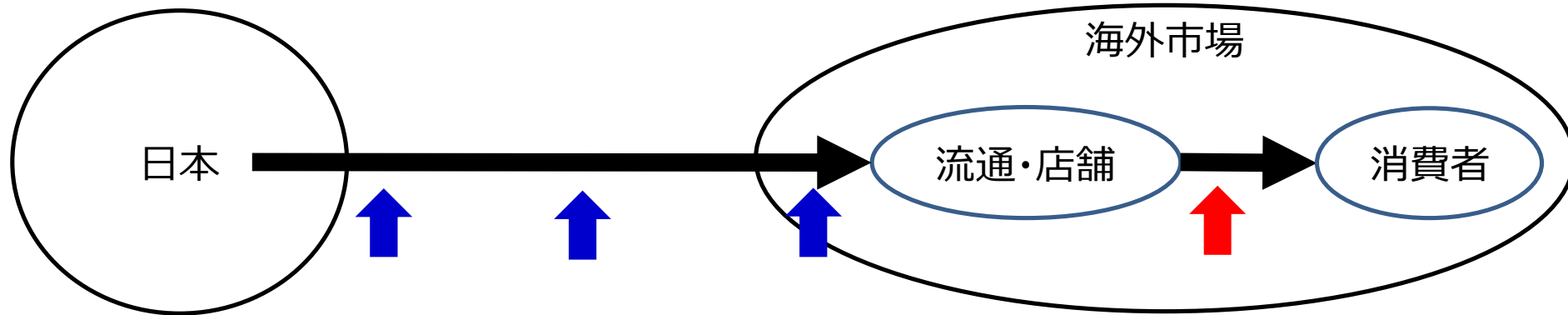
【センター長】 小林栄三（伊藤忠商事株式会社前会長・現特別理事）

【事務局長】 大泉裕樹（味の素（株）等にて、国内外マーケティングを担当する要職を歴任）

【人員体制】 本部、海外、国内 あわせて 37 名（2018年10月1日現在）

輸出拡大における事業者の業務とJETRO・JFOODOの支援

事業者の海外市場展開に際し、JETROは情報・商談機会の提供などを通じた販路構築サポートを事業者別に行い、JFOODOは販路を持つ商品拡販のための消費者向けプロモーションをオールジャパンで行う



事業者/団体：日本→海外市場への販路構築

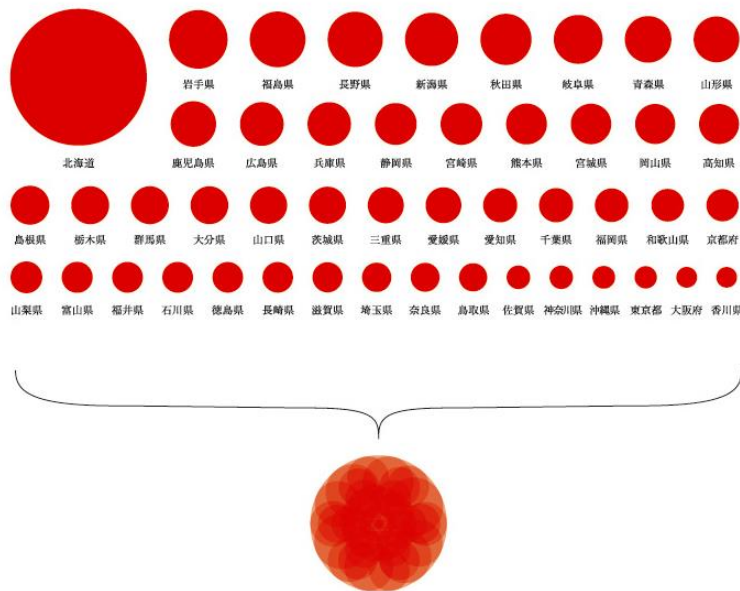
JETRO：情報・商談機会の提供などを通じた販路構築へのサポートの実施

JFOODO：構築された販路上にある事業者の商品拡販のための広告・広報プロモーションの企画・実施

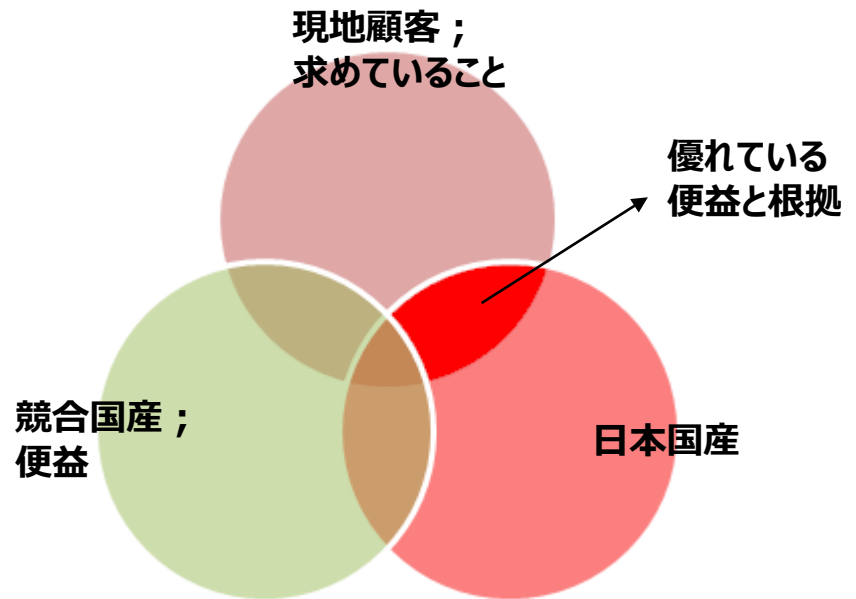
(そのプロモーションは、間接的に事業者の販路拡大や販売促進の商談材料にも)

取り組みの方向性

JETRO農林水産・食品部、関係省庁、自治体、団体等と連携し、オールジャパンでの消費者起点のプロモーションを企画して、事業者とともに実行する



ロゴマークは、47都道府県が一丸となってオールジャパンで協力しあう様子をあらわしている。



市場の消費者目線で競争優位なポジショニングとそれに合った産品・製品の選択と訴求を行う。

第一次取り組みテーマと展開地域

2017年度から第一次取り組み5品目7テーマについて下記の地域でプロモーションを展開し、
2018年度は日本酒については展開地域を拡大した

品目	展開地域	
	2017	2018
和牛	台湾	台湾
水産物 (帆立・ハマチ・鯛等)	香港	香港
緑茶	米国	米国
米粉	米国・仏国	米国・仏国
日本酒	英国	英国・米国・仏国 (香港・シンガポール)
日本ワイン	英国・香港・米国	英国・香港・米国
クラフトビール	米国	米国

2017年度プロモーション実績（抜粋）

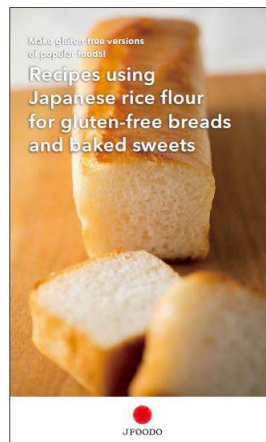
＜和牛＞



＜水産物＞



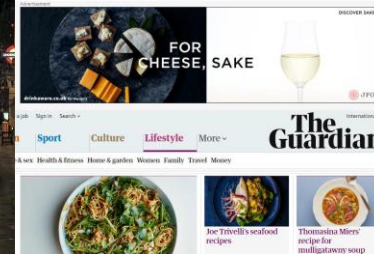
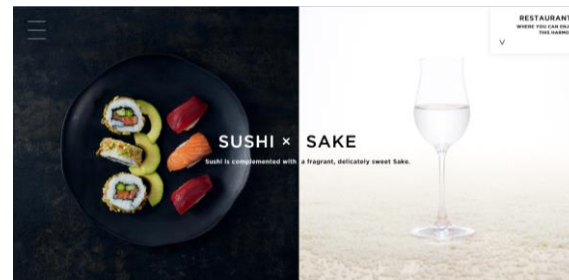
＜米粉＞



＜日本茶＞



＜日本酒＞



＜日本ワイン＞



＜クラフトビール＞



2018年度プロモーションの概要

2018年度のJFOODOプロモーションの概要は、下記ウェブサイトを参照

【JFOODOウェブサイト】

<https://www.jetro.go.jp/jfoodo/project.html>

JFOODO プロジェクト

で、検索